

を成し遂げた瞬間でした。

本人活動は、各地域ごとでその特色を活かしながら様々に行なわれていますが、そうしたそれぞれの活動がうまく繋がりをもつことで、さらに多面的なものへと発展していくのではないかと感じました。

【本人大会(2)】

バスツアーでは、約130名の参加者が、大阪市立北区民センターで受付をし、4台のバスに分かれて出発しました。

まず向かった先は、「大阪市立海洋博物館 なにわの海の時空館」でした。時空館では昼食もとらなければいけないため、見学時間は30分程度しかありませんでした。そのため、皆急ぎ足で4階から1階へ向けて順次見学をしていきました。2階には、実物大の船「菱垣廻船 浪華丸」があり、船の中に入ることもできたため、皆興味津々と見て回っていたように思います。

昼食後、またバスへと乗り込み、次に向かった先は「海遊館」でした。

海遊館での見学時間は2時間近くありました。しかし、約130名の団体が一気に館内へと入ったため、非常に混雑した中での見学となりました。そうした中でも、ペンギンやイルカ、人気のジンベエザメなどは、足を止め、ゆっくりと鑑賞されている方が多かったように思います。また、海遊館開館20周年記念として、鮫博覧会が開催されており、そちらも見に行く方が多かったです。

時空館では時間に追われたり、炎天下に海遊館の入口で待たされたり、薄暗闇の海遊館内ではぐれる方が出たり、満員電車状態の館内であつたりと、参加者の方にとっては大変な1日であつたと思います。帰りのバス内でもお疲れの方が多かったと思いますが、少しでも楽しい思い出が残ってくれていればと思います。(事務局)

お山の仲良しキャンプに行ってきました

平成22年8月22日から24日にかけて、大阪市立伊賀青少年野外活動センターに2泊3日の行程で、今年も「お山の仲良しキャンプ」を実施しています。

今年は連日猛暑続きでしたが、現地に到着してキャンプ場に入ると比較的過ごしやすく、ちょっとした避暑気分となりました。今回は参加者が16名でその中には40代・50代の方も数名参加されました。

今回は学生スタッフの方が増えています。あちこ

ちでキャンプを経験してきた先輩が、大学1回生の後輩などに声をかけて大勢集まったのです。今回はこの学生たちが活動の中心となって準備や当日のプログラムをしておりますので、今年はそうした視点も交えながら振りかえろうと思います。

7月に参加者の事前説明会に先駆けて、学生スタッフとの学習会・打ち合わせをおこないました。今回もキャンプディレクターをしてくださった桃山学院大学・石田先生からの話を熱心に聞き、また現地に関する細かな注意事項のアドバイスをリーダー格の先輩に教えてもらいながらメモを取る姿が印象的でした。正直なところ、どういう若者が集まるのかという不安もありましたが、こうした様子を眺めながら少し頼もしく思えてきました。将来何らかの形で、このキャンプ全般で経験したことを活かしてくれる、これも一つのキャンプにおける成果になるのではと期待しているところです。

さて、事前説明会で参加者・スタッフの顔合わせもして、今年はお盆明けになりましたが、いよいよキャンプ当日です。新しい顔ぶれもたくさんいる中でどういう展開になるかあれこれ考えていましたが、行きのバスレクリエーションで学生が中心になって参加者の気分を高めていくにつれ、何となく楽しいものになるのでは・と感じられました。

現地でのプログラムについて紹介します。初日の夕食は自炊でカレーライスを作りました。個人的にはこの夕食が一番美味しかったのでは・・と思っています。メインの2日目は午前中に登山に行きました。良い気候になり、苦勞して登ったあとの山頂を満喫したようでした。今回は登山が難しいメンバーが数人おられたため、別プログラムを用意しました。それぞれに合ったプログラムの提供はこれからも色々検討する余地があるでしょう。午後からは、一休みしたあと川遊びをしました。今年は川の水かさが少なくなっていました。学生スタッフが準備していた宝探しゲーム(隠しているカラーボールを見つけおやつをゲットするゲーム)やすいか割りなどで皆さんハッスルされています。夜はキャンプファイヤー、ここでも学生が念入りに打ち合わせをしていた内容で参加者・スタッフ一同大いに盛り上がりました。最終日にはおみやげ作りとして、アルバム作りをしました。キャンプ中に撮影した写真を用紙に貼って、めいめいにコメントを入れたり装飾してオリジナルのアルバムを完成させています。

キャンプを通じて、日常から離れた自然の中で普